

▲▲ 腹起しジャッキ

腹起しジャッキ (スーパーSSジャッキ)

※1ヶ月保証

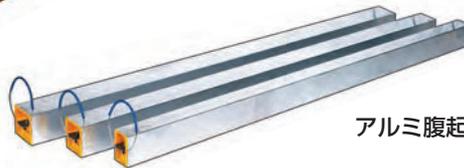
専用の作業棒を使用することにより、掘削構内に入ることなく地上より設置～撤去ができるので安全です。

NETIS登録 KK-110049-VR



■アルミ腹起し仕様

型 式	HAH-1212	
寸 法	高さ cm	120
	幅 cm	120
	長さ cm	1,800
		2,000
重 量 kg	15.8	
	17.6	
	26.3	
	35.1	
断 面 積 cm ²	32.5	
断面2次モーメント cm ⁴	729	
断面係数 cm ³	121	



スーパーSSジャッキ

■スーパーSSジャッキ仕様

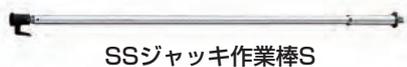
切梁の長さに応じたスーパーSSジャッキを選定してください。
切梁の長さ=掘削幅-2×(腹起し幅+矢板の高さ)



製品動画



SSジャッキ
ラチェットレンチ



SSジャッキ作業棒S

型 式	標準タイプ							
	47-66	57-86	72-113	88-144	125-181	159-215	192-248	264-320
許容軸力 kN	78.4	78.4	78.4	78.4	78.4	78.4	58.8	58.8
切梁長さ	最小 cm	47	57	72	88	125	159	264
	最大 cm	66	86	113	144	181	215	320
重 量 kg	8.1	9.0	10.1	11.3	13.6	15.5	17.4	21.7

■施工手順

- 矢板を4カ所挿入し、腹起し吊り具(腹起しホルダー・ブラケット)にて位置決め、腹起しを設置する。
- 腹起しの間隔より少し短めに、スーパーSSジャッキの寸法を合わせる。
電動ドライバー(17mm)で、間隔幅に早く調整が行えます。
ひと目で分かる目盛り表示付き!!
レッドライン(最長ライン)
※目盛り表示は切梁長さを示します。
- スーパーSSジャッキを作業棒にて地上より設置する。
- 作業棒の先端のソケットをジャッキのスパナ口に差し込み、ラチェットレンチをセットし、仮締める。
- 残りの矢板を立て込む。
- 矢板打ち込み工具を使用して、根入れを行う。
- 4の手順で本締めし設置完了。

■撤去手順

- 作業棒の先端のソケットをスーパーSSジャッキのスパナ口に差し込み縮めてください。
- 作業棒をスパナ口より引き抜いてください。
- 作業棒にて反対側のレールハンドルを吊り上げてください。

■アルミ腹起し 断面形状 (単位: mm)

HAH-1212

